

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート〔 事後評価 〕

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	03	0402	災害関連緊急治山事業

事業期間	☐ 単年度繰返	☒ 期間限定	〔平成 25 年度 ～ 平成 25 年度〕
------	--------------------------------	--	-----------------------

《事業目的》

山地災害の未然防止
災害発生箇所の早期復旧

《事業開始の背景》

8月8日の集中豪雨による山地崩壊

《事業概要》

8月9日の集中豪雨により崩壊した山林の復旧を県単独の治山事業で行う。
事業費5, 100, 900円
市負担金1, 020, 180円（負担割合2/10）

市民参画の有無〔 無 〕

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項 目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
①	保全される森林	ha	目標		0. 40	
			実績		0. 40	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

分 野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	農村林務課	柏葉正和	6-277

	25 年度	当初(現計)	補 正	25 年度	年度
事業費	1, 020				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1, 020			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

被害箇所 花巻市大迫町亀ヶ森第15地割16番地 高橋勝雄宅

発生日時 平成25年8月9日12時30分頃

被災状況 山腹崩壊0. 02 h a（幅11. 0m 延長16. 5m）
土地所有者の自宅裏山が崩壊し、流入土砂により1階部分が破損して1名死亡

崩壊原因 集中豪雨により、上部ヒエ畑（旧水田）が冠水し、越流水と浸透水により
地盤が緩み崩壊したものと推定。

事業導入経過 8月20日現地調査
被災箇所は、居住地に隣接しており、今後、二次災害の危険性もあり、被災者の安全を確保するため、早急に復旧の対策を講じる必要があることを確認。
事業の手法として、山林であるので、治山事業と農地に関わることから農地災害復旧も検討

農地災害復旧では、上部の農地部分の復旧のみで所有者負担を伴うが、治山事業では上部工に加え、下部にコンクリート土留工を採用できより安全性を確保でき、所有者負担もないため県単治山事業での復旧を行う。

治山事業概要 災害関連緊急治山（県単治山）
事業費5, 100, 900円
市負担1, 020, 180円（事業費の2割市負担）

事業実施にあたっては、区域を保安林指定する必要あり。（3, 000㎡以上かつ2名以上の土地所有者同意）

8月31日同意取得済み
花巻市大迫町亀ヶ森15－70－1 1, 528㎡ 高橋勝雄
花巻市大迫町亀ヶ森15－72 1, 532㎡ 佐藤セツ
花巻市大迫町亀ヶ森15－147-2 1, 026㎡ 高橋勝雄
同意者2名 4, 086㎡

災害関連緊急治山事業（総括表）

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	03	0402	災害関連緊急治山事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	山地災害の未然防止 災害発生箇所の早期復旧			
対象	民有林			
意図	山地災害から地域住民の生命、財産を守るため			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること	
8月9日の集中豪雨により崩壊した山林の復旧を県単独の治山事業で行う。 事業費5,100,900円 市負担金1,020,180円（負担割合2/10）	
市民参画の有無 [無]	
市民協働の形態	☐ 共催 ☐ 実行委員会・協議会 ☐ 事業協力・協定 ☐ 後援・協賛 ☐ 補助・助成 ☐ 委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	山地災害復旧	ha	計画		0.02	
			実績		0.02	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	保全される森林	ha	目標		0.4	
			実績		0.4	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			

要因分析	達成度 ☐ 目標値より高い ☒ 概ね目標値どおり ☐ 目標値より低い
山地災害復旧を計画通り実施	

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？ 二次災害の恐れがあるので、被災者の安全を確保するため、早期の復旧が望まれている
--

目的妥当性	公共関与の妥当性 ☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある ☐ 妥当でない	該当地域住民の安全を確保するための災害の復旧である。
有効性	成果の向上余地 ☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	災害復旧工法として、最適な工法を選択している。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ☐ 事業費の削減余地がある ☐ 人件費の削減余地がある ☒ どちらも削減余地がない	該当地域住民の安全を確保するための災害復旧である。
公平性	受益と負担の適正化余地 ☐ 受益機会の見直し余地がある ☐ 費用負担の見直し余地がある ☒ 適正である	同上

《総合評価》…上記評価結果の総括 今後においても、集中豪雨等による山地災害の対応を迅速に進められるよう関係機関と連携を図る。
